第１回名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会 会議録

１　日　時　　令和８年７月２７日（月）１３：３０～１５：４５
２　場　所　　名取市歴史民俗資料館体験学習室、現地（雷神山古墳）
３　出席者　　委　員　５名（藤澤敦、豊嶋純一、岩田京子、太田昭夫、相澤清利）
　　欠　席　２名（菊地芳朗、小嶌秀是）
　　オブザーバー　２名（宮城県教育庁文化財課保存活用班　小野班長、大沼技師）
　　事務局　４名（堀籠課長、鴇崎課長補佐、伊藤主幹兼係長、齋藤主幹）
４　概　要

事　務　局　　それでは、定刻となりましたので、ただいまから第１回名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会をはじめます。

それでは、委嘱状の交付を行います。名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会の委員につきましては、先日、委員の皆様へご案内のとおり、７月１日付けをもって皆様方にお願い申し上げているところであります。お手元にお配りしております、名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会委員名簿をご覧ください。上から順に皆様のお名前を読み上げさせて頂きます。藤澤敦様、菊地芳朗様、小嶌秀是様、豊嶋純一様、岩田京子様、太田昭夫様、相澤清利様、以上７名の皆様です。それでは、委員を代表いたしまして藤澤委員に委嘱状の交付を行います。それでは藤澤委員、前の方へお願いいたします。

（委嘱状交付）

ありがとうございました。なお、皆様の委嘱状につきましては、お手元にお配りさせて頂いておりますので、ご確認下さい。

事　務　局　　それでは、会議にあたりまして文化・スポーツ課長の堀籠からごあいさつを申し上げます。なお、本来であれば、教育長及び教育部長が出席しごあいさつ申し上げるところでございますが、本日は公務のため欠席となっております。それでは、堀籠課長、お願いいたします。

堀籠課長　　本日は、委員の皆様には何かとご多用のところ、第１回名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。本来であれば、教育長及び教育部長が出席し、ごあいさつを申し上げるところでございますが、本日は学校関係の公務のため欠席となりましたので、私から代理でごあいさつを申し上げます。

皆様には日頃から、本市の文化財保護行政に対しまして、それぞれの専門的なお立場からご支援、ご協力をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。さて、史跡雷神山古墳につきましては、令和５年度から令和７年度にかけて保存活用計画を策定し、史跡の本質的価値や、保存・活用・整備・体制に関する基本的な考え方を整理してまいりま

した。

今回策定する整備基本計画は、その保存活用計画を踏まえ、見学環境、案内・解説機能、動線、植栽、便益施設、管理運営などについて、より具体的な整備内容や事業の進め方を検討するものとなります。

雷神山古墳は、昭和50年代後半から60年代前半にかけて整備が行われ、現在も史跡公園として市民の皆様に利用されております。一方で、整備から約 40 年が経過し、施設の老朽化、樹木類の繁茂、案内・解説機能、見学環境など、今後検討すべき課題も生じております。本委員会では、こうした現状や課題を踏まえ、史跡の本質的価値を確実に保存しながら、多くの方々に雷神山古墳を訪れていただき、その価値や魅力を実感していただけるよう、具体的な整備のあり方についてご検討いただくことになります。委員の皆様には、考古学、公園整備、都市計画、観光など、それぞれの専門的なお立場から、忌憚のないご意見を頂戴できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、本日の会についてですが、第１回目の会ですので、はじめに委員長・副委員長の互選を行い、その後、本日の議題として、協議事項「史跡雷神山古墳整備基本計画の骨子について」の１件を予定しております。また、協議終了後には、史跡雷神山古墳の現地視察も予定しております。限られた時間ではございますが、活発なご審議をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事　務　局　　ありがとうございました。

続きまして、今回は、第１回目の策定委員会となりますので、事務局から、改めて委員の皆様をご紹介させていただきます。名簿の順にご紹介いたします。

藤澤委員、豊嶋委員、岩田委員、太田委員、相澤委員、なお、菊地委員及び小嶌委員につきましては、本日ご欠席となっております。

なお、本委員会のオブザーバーを、文化庁 文化資源政策・記念物課 整備部門 岩井文化財調査官のほか、宮城県教育庁文化財課 保存活用班　小野班長と大沼技師にお願いしておりますので、併せてよろしくお願いします。

続きまして、事務局職員の紹介をいたします。先ほどご挨拶申し上げました、文化・スポーツ課長の堀籠、歴史民俗資料館館長兼文化・スポーツ課長補佐の鴇崎、文化・スポーツ課文化財係長兼歴史民俗資料館主幹の伊藤、最後に司会を務めさせていただきます齋藤です。よろしくお願いいたします。

また、本日、本計画策定にともなう支援業務の受託業者である「応用地質株式会社」から２名の職員が参加しております。今後の委員会などにも参加予定となっていますので、併せてよろしくお願いします。

事　務　局　　それでは、会議に移りたいと思います。当委員会につきましては「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」により会議を公開することとなっておりますので、ご了承願います。

ただいまから、第１回名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会を開会いたします。

はじめに、委員長・副委員長の互選に入りたいと思います。互選にあたり仮議長を堀籠課長にお願いいたします。

仮　議　長　　それでは委員長・副委員長が決まるまで、仮議長を務めさせていただきます。
委員長並びに副委員長の互選についてですが、いかがいたしましょうか。おはかりいたします。

相澤委員　　委員長、副委員長の選任について、事務局から提案がありましたらお願いします。

仮　議　長　　ただいま事務局案というご提案がありましたが、委員長・副委員長あわせて事務局案をお聞かせください。

事　務　局　　事務局案としては、委員長は藤澤委員さん、副委員長は太田委員さんにお願いできればと思い、ご提案申し上げます。

仮　議　長　　委員の皆様いかがでしょうか。

一　　同　　異議ありません。

仮　議　長　　では、異議なしということで、委員長は藤澤委員、副委員長は太田委員に決まりましたので、よろしくお願いいたします。

事　務　局　　ありがとうございました。
それでは委員長に選任されました藤澤委員長より、ごあいさつをお願いいたします。

議　　長　　今回の整備基本計画策定委員会の前段階のである保存活用計画策定委員会でも委員長を務めさせていただきましたので、引き続きということになろうかと思います。皆様のご協力を得ながら、少しでも良い計画策定を進めたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事　務　局　　ありがとうございました。
次に、本日の会議に入りますが、名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会設置要綱第５条第１項の規定により、委員会の会議は、委員長がその議長にあたることになっておりますので、議長を藤澤委員長にお願いいたします。

議　　長　　それでは、暫くの間、議長の職を務めますので、委員各位の協力をお願いいたします。
はじめに、会議録署名委員の指名をいたします。会議録署名委員は、豊嶋委員及び相澤委員にお願いいたします。

議　　長	本日の会議の進め方についてですが、次第にもありますとおり、協議事項が１件あり、その後、現地視察が予定されております。はじめに協議第１号について事務局から説明を受けた後に、皆様から質疑やご意見を頂き、終了後現地視察に出発する予定とのことですので、よろしくお願いします。
議　　長	それでは、事務局から協議第１号について説明願います。
事 務 局	（協議第１号について内容説明）
議　　長	ありがとうございます。ただいまの説明について、ご質問ご意見ありますでしょうか。事務局から補足があればお願いします。
議　　長	期間が２か年なので、第１章から第５章の基本方針までを今年度、第６章から第７章の整備計画と事業計画が来年度というイメージでよろしいでしょうか。この工程表を見ますと、そのために今年度は４回委員会を行うという計画のようです。
事 務 局	はい。
議　　長	私から発言させていただきます。２枚目の構成案の中の文化庁指摘事項については、既に文化庁と協議されたということですか。
事 務 局	事前に文化庁の岩井文化財調査官から、前回の保存活用計画の内容を踏まえて、整備基本計画ではもう少し踏み込んでこういったことを盛り込んでほしいという指摘事項を詳細にいただいており、その内容を踏まえた上での今回の構成案となっております。文化庁の指針に載っている基本的な項目立てに基づいた構成案ということでございます。 保存活用計画策定委員会では、その後、例えば第１章の委員会の設置ですとか、第２章の上位計画、関連計画など、ごく一般的な内容は、後ろの付章へ移動した経緯もあります。 この構成案は、あくまで委員会で意見をいただく中で変わっていくものであると考えており、まずはオーソドックスな形での構成案を示した資料となっております。
議　　長	文化庁からの一般的な構成案として、このような内容を書いてくださいとの意図に従って組み立てているということですね。議論の中で、ここは簡略に、ここはしっかりとなど、項目も含めて今後変更などの余地があるということでよろしいですね。
事 務 局	はい。
議　　長	他に何かございますでしょうか。全体的な進め方も含めて。 本年度はここでの議論が中心になると思いますが、来年度になるとパブリックコメントが行われるということになりますでしょうか。

事　務　局	はい、そうです。地域の方への周知をいかにするかというところを含めて、検討しながらとなりますが、現在の工程表の中では、来年度パブリックコメントを考えております。計画がある程度固まってきた段階で、パブリックコメントをしていくのが、オーソドックスなやり方と考えております。
議　　長	何かございますか。
豊嶋委員	雷神山古墳の計画として、この整備基本計画以降は管理運営計画など他の計画作成は想定はされていないということでよろしいでしょうか。
事　務　局	そうです。具体的な管理計画のあり方も含めて、今回の計画の中に盛り込みます。それ以降は個別にさらに踏み込んだ何らかの計画を作るということは考えておりません。
議　　長	他にいかがでしょうか。
議　　長	昨年度末に作成した、保存活用計画の計画期間は何年でしたか。
事　務　局	令和８年度から令和１７年度までの１０年間の計画です。５年毎に前期と後期に分ける形になっています。
議　　長	整備基本計画策定も、あくまでこの保存活用計画の１０年間の期間内で行いますので、２か年策定にかかると、残りは８年という計算になりますね。
事　務　局	はい。
議　　長	他にはいかがでしょうか。
岩田委員	保存活用計画はすでに一般に公開されているのでしょうか。
事　務　局	はい、ホームページなどに掲載し公開している状況でございます。
議　　長	冊子は配布しているのか。
事　務　局	冊子も作成していますが、部数が限られており、基本的にはホームページで公開し、そちらを見ていただくという考え方になっております。
議　　長	よろしいでしょうか皆さん。 本日は全体の進め方を確認していただいて、今回から参加の委員の方々もいらっしゃいますので、現地を確認して、保存活用計画であげられた課題を皆さんで共有していただき、

	その場で意見を出してもらう、これが本日の委員会の目的ということでよろしいですね。
事　務　局	その通りです。
議　　長	全体の中で、ぜひ忌憚のない意見を出して頂ければと思いますが、いかがでしょうか。 特にご意見などがなければ、現地視察でまたいろいろお話ができるかと思いますので、この場の協議は、整備基本計画策定のこれから２か年の進め方ということで、承認でよろしいでしょうか。
一　　同	承認します。
議　　長	ありがとうございます。事務局から他に何かございますか。
事　務　局	この後現地視察に行きますが、暑さもありますし、雨が降り足元がだいぶ悪い状況でございます。現地視察の資料を配布しておりますが、現地で資料を見ながら説明は難しいであろうと思います。ここで先に資料の説明をし、現地でさらに説明をさせていただければと思います。
議　　長	では、現地視察の資料の説明をお願いします。
	（事務局説明）
議　　長	委員各位のご協力によりスムーズに議事を終了することができました。これで議長の職を解任させていただき、あとは現地視察でよろしくお願いします。
	（協議終了）
事　務　局	藤澤委員長、議長職大変お疲れ様でございました。 続きまして、この後、史跡雷神山古墳の現地視察に移りたいと思います。１４時２５分に出発しますので、外に準備しております公用車に時間までにご乗車ください。
	（現地視察へ移動）
	（於：駐車場）
太田委員	法面部の松はアカマツかクロマツですか。
事　務　局	アカマツです。
藤澤委員	駐車場整備検討の場所はどこですか。

事　務　局	駐車場から東側へ行った場所にある、以前寄付された土地です。
	（於：入口）
岩 田 委 員	車止め等があるが、車いすでの利用状況はどうですか。
事　務　局	古墳への通路の勾配がかなりきつく、自力では登れないと思われますし、車止めもあるため現状では利用は厳しい状況です。
	（於：広場）
藤 澤 委 員	外周園路の辺りに駐車場があると、車椅子の方も利用しやすいのではないかと思います。外周園路の外側は民地ですか。
事　務　局	民地です。
オブザーバー	指定地内への駐車場整備というと難しい部分もありますが、駐車場にも使える様なスペースを整備するという考え方であれば、整備できる可能性はあるかもしれません。
豊 嶋 委 員	マルシェはどこで開催されているのですか。
事　務　局	入口から登ったところに、両サイドに20店舗くらい並び開催されています。地元で活動している方がマルシェに参加しています。
岩 田 委 員	マルシェなどイベントが開催されるようになるまでの、雷神山古墳の活用状況はどうだったのでしょうか。
事　務　局	名取市歴史民俗資料館が令和２年度に整備されるまでは、日常的な公園としての利用がメインで、活用は低調でありました。その後、春のマルシェ開催やスカイランタンフェスティバル等の利用のほか、様々な現地案内も行われるようになってきました。
相 澤 委 員	以前は、館腰小学校児童の持久走大会が行われていました。
藤 澤 委 員	遺構表示の植栽は、周堤と言うよりも旧地形を周溝状に掘り込んだことにより形成された段と思われるので、現在あるような周堤の現地表示という意味合いでの植栽は、かえって誤解を招くのではないかと考えます。それよりも高さをもう少し低くするなどして、ビューポイントとしての利用価値を高めた方が良いかもしれません。
	（於：雷神山西側の窪地前）
藤 澤 委 員	墳丘部に踏み跡ができているので、くびれ部辺りから墳頂部へ登る人が多くいると考え

	られますね。
事　務　局	最低限の補修を加えることを検討する必要があるかもしれません。
岩 田 委 員	墳丘上の木を伐採した場合には、さらに向こう側の景色まで見えるようになりますか。
事　務　局	大きい古墳ですので、反対側まで見えるようになるかというと難しいです。
藤 澤 委 員	百舌鳥古墳群では、気球を飛ばしていますね。他の取組も参考にしていきましょう。
	(於：雷神山南東端部)
太 田 委 員	椿の木は第１期整備の時に植えたものですか。
事　務　局	そうであったかと思います。
	(於：南側入口)
太 田 委 員	南側からのアクセスというのはやはり難しいのでしょうか。
事　務　局	かなり難しいと思われます。勾配のきつい山道であり、現在も一般の来訪者はほとんど使用していない状況です。
豊 嶋 委 員	南側の旧水道施設の盛土は、仮に除去するとなった場合には、現在の駐車場のレベルまで除去できますか。
事　務　局	南側にも周堤とされる部分があるので、上段の部分までになるかもしれません。
藤 澤 委 員	周堤としている部分も含めた調査を行い、その結果盛土であればその部分は除去可能なので、調査の結果によります。
	(於：墳丘東側)
太 田 委 員	現在の動線は、前方部の途中からも後円部に登っていくことをイメージしたものでしょうか。
事　務　局	本来は前方部の端から中軸線上を登って上に行くのが一番よいと思いますが、全体の動線は、墓地が移動できた後に見直す方向がよいかと考えています。
藤 澤 委 員	現在の墓地は見えないようにした方がよいのでしょうか、墓地の所有者は目隠しを希望していますか。

事　務　局	目隠しの植栽補植を検討する案も考えられますが、新たに植えられるのかという問題があります。また、倒木などが発生すると墓地自体に被害が及ぶ可能性もあるため、墓地所有者の方たちは現状のままがよいと考えるかもしれません。
藤澤委員	目隠しをするとしても、高さを抑える必要などを考えなくてはいけませんね。
岩田委員	現状では、そこまで墓地は気にはならないかもしれません。
事　務　局	ガイダンス前の樹木は伐採し、見晴らしを良くしたいとも考えています。
豊嶋委員	ガイダンスは、雷神山古墳へ意識を向けた方がよいので、見晴らしが最優先ではなくとも良いかもしれません。
岩田委員	高台だからこそ古墳が造られたという点を知ってもらうためには、見晴らしにも考慮してもよいと思います。
藤澤委員	大きな古墳は丘陵外周のヘリに造られており、下から見上げたり、上から見下ろしたりを意識して造られている。
	(於：四阿前)
藤澤委員	雷神山古墳から飯野坂古墳群が見えるのはこの辺りだけか。
事　務　局	見えるのはこの辺りだけとなり、ここが一番見やすいと思います。
藤澤委員	この辺りに写真やパネルを置いて、この山が薬師堂古墳や宮山古墳というふうに、何か設置するものよいかもしれませんね。
	(現地視察終了)
事　務　局	それでは、これで第１回名取市史跡雷神山古墳整備基本計画策定委員会の一切を終了させていただきます。

１５：４５　終　了

以上、会議の顛末を記録し、正当なることを証するためここに署名する。

委員長 藤澤 敦 印

署　名 豊嶋純一 印

署　名 相澤清利 印